



皆さんは、動物園に遊びに来た時に「なぜ?」「どうして?」と思ったことはありませんか?

「教えて!飼育員さん!」は、来園者の皆さんからの疑問に飼育員がお答えする企画です。

それでは早速、質問にお答えしましょう。

今回の質問はこちら。

ペンネーム: なほち さん からの質問

フラミンゴやツルのコーナーで不思議に思ったのですが、どうして歩く時にいちいち足先を閉じてから開いて歩くのですか?

ご質問、ありがとうございます。

動物たちをよく観察しているからこそその質問ですね。

フラミンゴやツルが歩いている所はよく見かけると思いますが、多くの方は足の指までじっくり見ることは少ないのではないのでしょうか。今回はそんな鳥たちの歩き方について解説していきたいと思います。



フラミンゴやツルは、どちらも水辺を好んで生活する鳥です。例えば、当園で飼育しているチリーフラミンゴは南米の湖や海岸に、ホオカザリヅルはアフリカの湿原に生息しており、どちらも水に入った時に体が濡れるのを防ぐために、細く長い足を持っています。

水分を多く含む地面はぬかるんでいるので、足をつけた時に体が沈みやすくなります。そのため、鳥たちは着地する時に指を開くことで、足が泥に沈みこまないようにしています。



一方、足を水面からあげる時には指を閉じます。そうすることで、水の抵抗が少なくなりますし、水もあまり波立たせないで歩くことができます。



鳥たちの足には歩き方の他にも、指の付き方や本数など色々な特徴、違いがあります。じっくりと見てみると新しい発見があるかもしれません。